

- 今後、森林所有者から町に森林の経営管理を委託され、町管理の森林整備が必要とされる私有林が増加し、森林環境譲与税が不足することが懸念されるため、「上松町森林環境整備基金」を設け、不測の事態に備える積み立てを行っています。
- その他にも森林環境譲与税の使い道には「所在不明の森林所有者の探索や境界の明確化等の課題解決」「林道・林業専用道の整備・維持修繕」「人材育成・担い手の確保」「森林・林業の意識や木材利用促進に関する普及活動等」多岐に亘ります。いざ必要な時に必要な額を賄うためにも予算を備蓄しておく必要があります。

上松町森林環境整備基金積立額：35,883 千円

【基金積立経過】

年度	収入(税)	支出	年度収支	累計額 (利息を含まない元金)	備考
令和元年度	9,348 千円	0 千円	9,348 千円	9,348 千円	
令和2年度	19,866 千円	5,505 千円	14,361 千円	23,709 千円	
令和3年度	19,880 千円	12,351 千円	7,529 千円	31,238 千円	利息+934円
令和4年度	24,810 千円	16,120 千円	8,690 千円	39,928 千円 31,238 千円	利息+473円 ⇐繰越事業8,690千円を除く実積立額
令和5年度	24,810 千円	30,687 千円	△ 5,877 千円	34,051 千円 30,817 千円	利息+624円 ⇐繰越事業3,234千円を除く実積立額
令和6年度	32,839 千円	21,261 千円	11,578 千円	45,629 千円 ※① 35,883 千円	利息+624円 ⇐繰越事業9,746千円を除く実積立額
計	131,553 千円	85,924 千円		上段：年度末精算額 下段：実基金積立額	

※①繰越事業は翌年度に支払見込があるため実基金積立額は下段となります。

担当者連絡先

(部署) 産業観光課 林務係 (氏名) 西村 武美
(電話番号) 0264-52-4804 (直通)
(メール) nourin@town.agematsu.nagano.jp

基礎データ

①令和6年度譲与税額	32,839 千円
②私有林人口林面積 (※2)	1,680 ha
③林野率 (※2)	66.4 %
④人口 (※3)	4,131 人
⑤林業就業者数 (※3)	114 人

※2：「2020農林業センサス」より

※3：譲与税基礎指標(R4.9時点)より

令和6年度 上松町森林経営管理事業額：21,261 千円

令和6年度事業では、以下のこんなコトに使われています。

- 木曽地域の6町村は、連携して森林経営管理制度を進めていくために、令和2年4月に木曽広域連合内に「森林整備推進室」を設置し、上松町は所有者に対する意向調査やその準備作業、制度運用を協力して行うための分担金を拠出しています。
- 上松町では既に小川周辺（田口）の164haの22名の森林所有者から町へ経営管理権が委託され、森林整備事業が実施されています。
また別の灰沢団地56haの16名、天狗山団地5haの21名の各森林所有者からは、町へ経営管理権が委託され、森林整備の準備をしています。
更に新たな区域、瀬木団地、寝覚団地は森林所有者の意向調査を実施中です。

事業内容（R6）

1. 事業推進分担金

【事業費】 5,977 千円

【実績】 上 松 町：経営管理制度対象区域の抽出、森林経営管理事業執行

広域連合：個人森林所有者の確認、説明会、意向調査、経営管理権計画作成、森林所有者の同意取得等の運営費等に充てられます。

- 上松町の林道は14路線 4 5 k mに及びます。特に生活に身近な林道の路肩の草刈・排水路の清掃・落枝・落葉・落石・倒木の除去のほか森林整備・獣害対応等、業務拡大に伴い5名の任用職員を任命して林道の維持管理のほか林務業務の補助を担っています。

2. 雇用報酬

【事業費】 5,880千円

【実績】 外勤 4名

内勤 1名



長野県 上松町（林道修繕）

- 上松町内には多くの林道があり、生活道路としての役割も果たしていますが、老朽化等により維持管理を必要としています。
- ・ 倉本線 路肩のコンクリート擁壁が傾き、路面に穴が空いてしまい片側が通行止めとなった場所の復旧工事をしました。
 - ・ 山室・巾ノ津線 落石・落枝落葉で側溝が詰り大量の路面水で、路肩が崩れてしまい片側通行等をしていた2か所の測量設計をしました。（工事は6年度に発注し7年度完成の見込み）

5. 林道修繕（倉本線）

【事業費】2,365千円（工事 1,903 千円 工事以外 462 千円）

【実績】路肩擁壁、舗装 10m、監督補助(監督・変更・精算設計)



□取組の背景

倉本線の先には、多数の電気通信設備の中継局や、駒ヶ岳への物資輸送のヘリポート、国有林への接続道路等、多くの人が唯一のこの林道を利用しています。

□工夫・留意した点

倉本線は利用機関が多いことから、利用時期の確認と工程を調整し、極力通行止への影響を抑え、工期短縮の工法を選択しました。

□取組の効果

現在はスムーズな通行が可能となっていますが、この先には崩落地があり、側溝の詰りによって新たな崩壊が発生しないか注意が必要です。



6. 林道修繕（山室・巾ノ津線）

【事業費】616千円（工事以外 616 千円）

【実績】測量・設計 山室34m、巾ノ津43m
工事等は繰越。



- 上松町内には多くの林道があり、林業生産はもとより生活道路やインフラ管理、観光関連道路としての役割も果たしていますが、災害や老朽化のほか道路沿線の危険木処理が増加しており、安全な通行が課題となっています。
このため通行に非常に危険な立木の伐採を行いました。

□事業内容

- ・ 林道沿線・家屋隣接の危険木処理（枯損木及び傾倒木）
- ・ 通常の立木と異なり、倒木方向や落下物の危険があるため基本的に特殊伐採（高所作業車・クレーン車、重機併用）

【事業費】2,871千円（台ヶ峰線、巾ノ津線、野口地区）

【実績】林道沿線危険木処理2路線他 約20本

□取組の背景

- ・ 近年増加傾向にあるカシノナガキクイムシによる枯損木が確認され、生活道路や通行量が多い場所で人的被害が発生しないよう、緊急伐採を実施しました。

□工夫・留意した点

- ・ 伐採についてはいずれも大径木で、安全第一を優先し、伐採木が多い箇所については、住民の方々の理解を得て昼間のみ作業に当たり、本数の少ない箇所においては短期間に処理して、生活に影響がないように心掛けました。

□取組の効果

- ・ 枯損木からの落枝が無くなった。
- ・ 通行時の圧迫感（危険度）が無くなった。

施業前



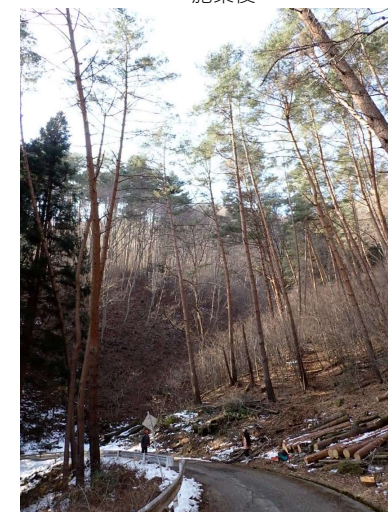
施業後



施業前



施業後



- 上松町内でクマ・シカ・イノシシ・サル等の野生獣害の被害が多く見られますが、特にニホンザルは街中にも出没して、屋根やベランダへ上り、糞をしたり奇声をあげたり、人威嚇したりする等の被害も出ています。
- そこで町では獣が隠れにくく出没しにくい里山づくり（緩衝帯整備）も行っています。

□事業内容

- ・主に出没・逃避する地域の緩衝帯を整備するため、作業道を開設。
- ・開設後は周辺の森林整備を実施し、獣の出没を抑止する。

【事業費】 3,234千円（工事 2,134千円 工事以外 1,100千円）

【実績】 測量・設計 300m

開設工事 208m（次年度92m開設）

森林整備 次年度以降

□工夫・留意した点

- ・伐採、玉切り整理と土工事のための開設工事としました。

支障木は地権者の了解のもと、現地利用又は自己搬出をお願いしました。

- ・次年度に延伸した際に状況を見て、必要な箇所には横断溝・緑化を施工予定。

・また全線完成時にはアスファルト切削材で敷砂利と、極力ローコストを目指しています。

□取組の効果

- ・取組の最中ですが、鬱蒼とした森林に光が入り始めました。

今後、森林整備も併用することにより、獣被害が少しでも減ることに期待します。

施工前



施工後



- 林道は比較的山間地内の道路であるため、土砂災害とは隣り合わせです。
ここでは早急に通行を確保しなければならない路線で、任用職員だけでは対応が困難な事案を外部発注としています。

□事業内容

- ・林道の維持管理業務（緊急的な応急工事）

【事業費】219千円+99千円

【実績】林道倉本線 2度土砂流出による通行止が発生。
土砂と流木の撤去

□取組の背景

- ・倉本線の先には、多数の電気通信設備の中継局や、駒ヶ岳への物資輸送のヘリポート、国有林への接続道路等、多くの人が唯一のこの林道を利用しています。

□工夫・留意した点

- ・林道の利用者が多くう回路もないため、短時間での通行止め解除を目指しました。

□取組の効果

現在はスムーズな通行が可能となっていますが、今後再度土砂流出の発生がないとも限りません。ここが原因で周辺道路に影響を与えないか注意が必要です。



施工前

施工後

